

愛大シネマ 多様性 フォーラム

講演会
＋
映画上映
＋
交流会

場所：愛媛大学城北キャンパス 共通講義棟B4F
アクティブ・ラーニングルーム 2

日時：毎月土曜日 13:30 開始（開場 13:00）

構成：講演 45 分＋映画上映＋交流会（希望者）

参加費：無料（事前申し込み不要）

問合せ：法文学部・諸田龍美 morota@ehime-u.ac.jp

※ 上映時間は映画作品により異なります

※ 第6回は90分の講演のみです

※ 各回の内容は変更となる場合があります

愛大シネマ多様性フォーラム 映画 プログラム

第1回：2026.10.31（土）13:30-

講演題目：「エネルギーの多様性を目指す地域
社会の実践と課題」

講師：朝井志歩（愛媛大学法文学部 教授）

映画：『おだやかな革命』（2017年、日本、
100分）

概要：この映画は、福島第一原発事故をきっかけに不安や怒りや恐怖や疑問を感じた日本各地の人々が、自分たちの手で「エネルギー自治」に取り組む姿を紹介しています。成長・拡大を求める経済のあり方とは違う、それぞれの地域の「幸せな経済」を生み出し、未来を変えようとする、おだやかな革命の物語です。



第3回：2026.12.19（土）13:30-

講演題目：「種子はなぜ失われるのか？」

講師：山本與志隆（愛媛大学法文学部 教授）

映画：『シード～生命の糧～』（2016年、
アメリカ、94分）

概要：この映画では、20世紀の間に野菜の種子の94%が消滅したという事実が示され、世界の種子がいかに急速に失われているかが描かれています。気候変動や農業の工業化に加えて、多国籍企業による種子市場の独占が大きな要因と考えられますが、この映画を通して食と文化の多様性がもつ意味について改めて考えてみたいと思います。



第5回：2027.02.06（土）13:30-

講演題目：「『違い』を受け入れる——複言語・
複文化主義の理念」

講師：柳 光子（愛媛大学法文学部 教授）

映画：『バベルの学校』（2013年、フランス、
89分）

概要：多様なルーツと背景をもつ移民の子どもたちがフランス語を習得するために通う「受け入れクラス」の1年間を追ったドキュメンタリー映画を通して、多文化共生社会の実現に向けたフランスの移民政策や言語政策、近年日本でも注目されている「ヨーロッパ言語共通参照枠」等について解説します。



第2回：2026.11.28（土）13:30-

講演題目：「日本の枠を超えた女性美術家たち
——草間彌生と小野洋子」

講師：野村優子（愛媛大学法文学部 准教授）

映画：『草間彌生∞INFINITY』（2018年、
アメリカ、77分）

概要：世界の美術館が個展の開催を望み、多くの観客を惹きつける草間彌生。彼女は家父長制の根強い日本を飛び出し、NYに活動の場を見つけた。成功者のイメージが強いが、そこへと至る道程は決して平坦ではなかった。今年8月に逝去した彼女を追悼する意味で、草間芸術の特徴や世界に愛される理由をともに考えましょう。



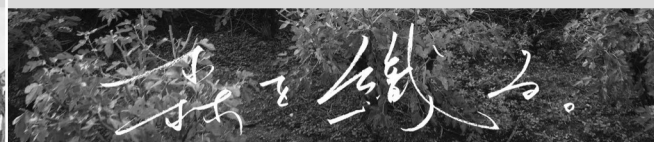
第4回：2027.01.23（土）13:30-

講演題目：「生命を織る服——自然と共に生きる」

講師：諸田龍美（愛媛大学法文学部 教授）

映画：『森を織る。』（2025年、日本、65分）

概要：森や里山の恵みの中で、古くから日本人は自然界のすべてに感謝しながら文化を育んできた。そうした風景は現代文明の中で喪われつつあるが、織物の産地の中に、それを守ろうとする人々によって、残されていた。生命の重なりによって紡がれる絹織物づくりを追った映画を通して、環境や伝統文化の保全について考えたいと思います。



第6回：2027.03.06（土）13:30-

講演題目：「ものがたりするこゑ——絵巻と古
典」

講師：西 耕生（愛媛大学名誉教授）

講演時間：90分（※ 映画上映はありません）

概要：国宝『源氏物語絵巻』をはじめ、平安時代の古典作品をビジュアル化しようとした絵巻物等を媒介としながら、原典を解釈・鑑賞します。

